



Vol.111

CONTENTS

【コラム】情報処理教育委員会の最近の活動について…松永 賢次

【解説】「アルゴリズム体験ゲーム」から「プログラミング体験ゲーム」へ—アルゴリズム 10 年間の歩みと今後—…大山 裕



COLUMN

情報処理教育委員会の 最近の活動について



今年度（2020 年度）より、前任の萩谷昌己先生から引き継いで、情報処理教育委員会において委員長を務めております。本稿では、委員会の活動の現状を紹介していきます。

本委員会は、10 に近い委員会の統合組織という性質を持っており（そのため、親委員会とも呼ばれます）、各（子）委員会の委員長・副委員長、親委員会委員長が指名する委員によって構成されています。学会の委員会名簿をご覧くださいと、その大きさに驚くかもしれません。

現在最もホットな委員会は、昨年より発足したデータサイエンス教育委員会でしょう。政府の AI 戦略 2019^{☆1} で示された人材像に基づき、順次、大学・高専向けのモデルカリキュラムが策定されてきておりますが、昨年度は、全員が学ぶリテラシーレベルのモデルカリキュラムの策定過程で、意見を出してきました。現在、本会が強みを出せる、エキスパートレベルのカリキュラムに向けての検討を行っています。

初等中等教育の新しい学習指導要領において、情報に関する学習が高度化するのに伴い、初等中等教育委員会が活発な活動を行っています。中高生の主体的な学びを応援する、全国大会併設の中高生情報学研究コンテストを 2019 年より開催しております。高等学校で新学習指導要領の情報 I・II を、多くの教員が教えられるよう、教員免許更新講習委員会に加えて、教員研修教材 MOOC ワーキンググループを発足し教材の公開を始めました。情報入試委員会では、新学習指導要領の教科「情報」が、共通テストや各大学での入試で出題・採用されるよう、さまざまな取り組みを行っています。一般情報処理教育委員会では、大学の専攻分野に依らず初年次レベルで使用できる新しい内容の教科書を作成しております。

本委員会の当初からの対象である、学部専門教育カリキュラムに関しては、2017 年度に J17 を作成し、現在、国際的な枠組みである CC 2020^{☆2} を学会として支持することとしました。CC2020 では、従来の知識に基づく教育から、コンピテンシーに基づく教育に大きく方針転換をしております。日本においてなじみがほとんどない考え方をどのように展開していくべきか、これから議論を深めていかなければなりません。

情報教育が社会で広く関心を持たれるようになってきている中、本委員会の活動を、会員の皆様や、情報分野の教育に関心を持たれている多くの方に興味を持っていただき、協力関係を構築していくことが、委員長としての重要な使命と考えております。

☆1 AI 戦略 2019 とその後のフォローアップは、https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ai_senryaku/ を参照のこと。

☆2 CC2020 とは、The Computing Curricula 2020 の略称であり、Paradigms for Future Computing Curricula という副題の通り、新たな教育パラダイムを提示しているものである。2020 年内に公開予定となっている。



松永賢次（専修大学）（正会員） matunaga@isc.senshu-u.ac.jp

専修大学ネットワーク情報学部教授・学部長、同大学情報科学センター長。本会情報処理教育委員会では、情報システム教育、情報入試、ア krediteーションの委員会で活動し、2020 年より委員長。

LOGOTYPE DESIGN...Megumi Nakata, ILLUSTRATION&PAGE LAYOUT DESIGN...Miyu Kuno